

# 東奥日報

2020年(令和2年)2月24日月曜日(10)

学生&高校生まちづくりコンペ

## 「つくるはしかみ」最高賞

八工大生有志 町の魅力学び作品に

八戸

八戸圏域連携中枢都市圏の助成金を活用し、まちづくり活動に取り組んだ大学生や高校生が成果を発表する「学生&高校生まちづくりコンペティション」が15日、八戸市の八戸ポータルミュージアムはっちで行われた。審査の結果、八戸工業大学創生デザイン学科の学生有志によるアートプロジェクト「つくるはしかみ」



最高賞の市長賞に輝いた「つくるはしかみ」実行委員会のメンバー

の実行委員会が最高賞の市長賞に輝いた。

コンペには、八戸市と南部町の大学・高校から計9グループが参加。各自が助成金をどのように活用し、八戸圏域のまちづくりに挑戦したかを発表した。

同プロジェクトは、階上町を巡って見聞きした地域文化などを基に作品を制作する取り組み。7月ごろからフィールドワークを行い、町の自然や生活を切り取った写真やイラストを町内の施設などで展示した。同実行委によると、大学キャンパスが階上町に近いことから、多くの学生が町内に下宿しているという。

実行委員長の南遥香さん(3年)は「階上に住んでいるもの、町のことをよく知らずに卒業してしまう学生が多いと聞き残念に思っていた。町内の自然や生活に向き合うことで、階上の魅力を再発見することができた」と話した。

また、特別賞には八戸学院光星高校と八戸工業大学鉄道研究会、八戸工業高等専門学校「ろぼっと娘」が選ばれた。

(工藤俊介)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」